

**質** 観光文化と文化観光があると言われていますが、恩納村の現在はどうだと思うか伺う。

**答** 商工観光課長（城野 正和） 地域の人たちのまつりに観光客が参加するようになつたことや、魚のつかみ取り、牛汁の大鍋、これは地域の生活文化や食文化、観光に発展し、観光の交わりの観光文化に当たるものだと考えています。地域の伝統芸能を取り入れられており、観光客が鑑賞することから文化観光に当たると考え「観光文化」と「文化観光」が複合的に融合していると考えています。



亀谷 梢 議員

**質** 観光と文化の融合及び伝統文化保存について

**答** 恩納村長（長浜 善巳） 観光文化と文化観光があると言われていますが、恩納村の現在はどうだと思うか伺う。

**質** 恩納番所跡地の利用計画について

**答** 企画課長（喜久山 隆） 恩納村として、具体的な計画はありません。庁舎の改修とか、駐車スペースが限られています。今後も職員の駐車場としての活用が見込まれています。



宮崎 匠 議員

**質** 村民給付型商品券事業の実施について

**質** 今、恩納村でオーバーツーリズムの部分が目立つてしまっているのが現状です。村民感情として「観光ばかりが盛り上がって住民に還元されていないように感じる」といった声があります。ふるさと納税を活用し、行政が多く事業を実施することで、村民に還元されているのも重々理解はしていますが、村民が実感できないない、理解できないないというのも現状あります。今回提案している「村民給付型商品券事業の実施について」は、村民に対して観光の恩恵を実感していただきたためにも、観光分野からの一番の恩恵であるふるさと納税の収税を活用することに意義があり、その収税を活用してお年寄りから子ども達まで、全村民が公平公正に分

かりやすく観光の恩恵を享受できる事業であると考えています。改めて、村民給付型商品券事業の実施について、村長の見解を伺う。

**答** 村長（長浜 善巳）

観光が村民に対して、どのような利益があるのか。弊害的なところもあります。我々も今後、こういったところも踏まえてどのように村民に対して還元できるか。どのような方法が効果的かというのを考えながら進めていきたいと思っています。

**質** 保育料の完全無償化について

**質** 「子育てしやすい村であれば、恩納村に住み続けたい」「移住を検討したい」という子育て世帯が多く存在すると考えられます。保育料の完全無償化が実現すれば、人口減少に歯止めをかけ、若い世代の定住促進に直結すると考えますが、執行部の見解を伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

宮崎議員の提案されている保育料の完全無償化、持続可能な財源確保も含めて引き続き、子育て世帯への経済的支援として「保育料の完全無償化制度」を今年度中に、課内で方針を示していくべきと考えています。

**質** 若者、子育て世帯の定住促進策について

宮崎議員の提案された「若者、子育て世帯の定住促進策について」は、なかなか難しいことだと思います。人口流出を防ぐ、若い世代が残らないと地域の伝統文化も発展しないと思いますので、こういった思い切った施策を、ぜひ第6次後期計画に盛り込んでいただきたい。

実施時期は、また一般財源の確保が可能になった際に進めていかなければと考えています。現在、福祉課のほうにおいては、保育料の完全無償化制度を今年度中に方針を示していくけれども踏まえてどのように村民に対して還元できるか。どのような方法が効果的かというのを考えながら進めていきたいと思っています。

**答** 村長（長浜 善巳）

保育料の完全無償化ですが、やはり持続可能な財源確保が一番重要と考えています。現在、福祉課のほうにおいては、保育料の完全無償化制度を今年度中に方針を示していくけれども踏まえてどのように村民に対して還元できるか。どのような方法が効果的かというのを考えながら進めていきたいと思っています。

このような突出した施策を打ち出していかないと、一度出ていったしまった子育て世帯をまた呼び戻すのは、なかなか難しいことだと思います。人口流出を防ぐ、若い世代が残らないと地域の伝統文化も発展しないと思いますので、こういった思い切った施策を、ぜひ第6次後期計画に盛り込んでいただきたい。

**質** 今後の観光に対するビジョンを伺う。

**答** 恩納村長（長浜 善巳） 観光ビジョンは、美しい自然景観の保全育成、地域住民との連携、伝統芸能の継承、また地場産業と観光の実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。村の第3次観光振興計画では、歴史文化資源等の活用と併せてスポーツ合宿の誘致が基本目標となっています。

**質** うんなナビーの屋敷について令和4年の9月定例会の答弁の中で、うんなナビーは口承伝で歴史の書物とかの認識で、踏み込めないのか。ナビー屋敷跡をいま一度検討する必要がないか伺う。

**答** 企画課長（喜久山 隆） 文化的資源ということところで、琉歌と大変貴重なことです。集落内とおこでオーバーツーリズム対策と観光客に対するルールづくり等の課題があります。課題を区、教育委員会、商工観光課と連携をしてどのように活用できるか検討していきたいと考えています。

**質** 恩納村役場で開催された恩納村SDGs研修会で、講師の小林氏から提案、提言された「若者や中間層が主体となつた会議の開催」が、今後本村においてとても

実施時期は、また一般財源の確保が可能になった際に進めていかなければと考えています。現在、福祉課のほうにおいては、保育料の完全無償化制度を今年度中に方針を示していくけれども踏まえてどのように村民に対して還元できるか。どのような方法が効果的かというのを考えながら進めていきたいと思っています。

**答** 村長（長浜 善巳）

今回我々は15の区、また一つの地域を回って行政懇談会をしました。その中でもやはり子育て支援、また若者の定住化、また若者が少なくなったという声をたくさん聞きました。今、議員からあります「若者が地域をつくっていく」ということ、私はとても重要な声をたくさん聞きました。やはり我々も若い皆さん自分が自分たちの地域を、また村をどのように活性化させるか。また未来をつくっていくかというのは大変重要な部分であると認識しています。今後、議員から提案のあります、この「若者たちがつくる協議会」、検討していきたいと思います。

自分ごととして考える。そういうきっかけになるとも考えています。そういった若者たち、中間層の人たちの自分事として考えるきっかけの場の創出のためにも、「若者、中間層が主体となつた協議会の設置」を提案させていただきます。その協議会から、テーマを設定して施策や事業の立案、提言を行っていきますが、村長の見解を伺う。

**質** 万座毛に尚敬王が、1726年に訪れて(万人を座らせるに足ると、万座毛と名づけられたと言われば、万座毛は尚敬王が、1726年に訪れて(万人を座らせるに足ると、

**質** 行政・住民サービス及び職員研修について

**質** 万座毛に関するミニパネル展が実施できなか検討したいと思つています。

万座毛に関するミニパネル展が実施できなか検討したいと思つています。

います。来年で300年、恩納村としては、何か計画されているのか

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘） 尚敬王と万座毛を関連させる資料が乏しいため、関連する事業は予定していません。万座毛は地域の憩いの場として長年親しまれており、尚敬王と

**質** 住民サービスの向上と職員の業務負担の適正化という観点から、慎重に検討すべきものと認識しています。ロビーでの案内があると、初めて来院される方が手続に迷う不安を減らせる点は事実です。案内板は、早速対応していきたいと考えています。

**質** 役場ロビーの案内係・案内板の必要性について伺う。

**答** 総務課長（宮平 寛） 各表彰に関しては、広報誌により村民の方へ受賞の報告はしている状況です。他市町村においては、受賞祝賀会等が開催されています。今後の対応としては、各種受賞者の功績を称えて、新年祝賀会の中で紹介、披露していくことを考えています。

重要なこととして考える。そういうありました。若者や中間層の主体性、自主性を尊重し、他人任せではなく自らやる、自ら動く、村の未来を自分ごととして考える。そういうきっかけになるとも考えています。そういった若者たち、中間層の人たちの自分事として考えるきっかけの場の創出のためにも、「若者、中間層が主体となつた協議会の設置」を提案させていただきます。その協議会から、テーマを設定して施策や事業の立案、提言を行っていきますが、村長の見解を伺う。